

## 【お役立ち情報】 設備の一部が停止してもV9の監視/操作は続けたい！

Before

設備の一部の電源が切れると、  
「通信エラー」画面になって、他の設備の監視/操作ができない…

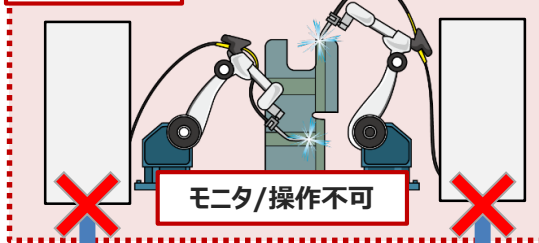
集中監視盤



拡大図

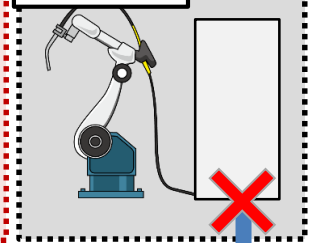
通信異常処理：停止  
エラー画面になってしまふ。

電源ON



モニタ/操作不可

電源OFF



集中監視盤で  
モニタできないのは困る…。

稼働しないなら電源OFF  
して節電したいなあ。

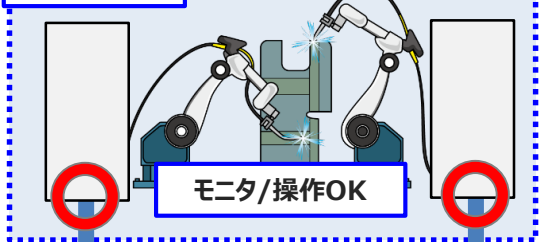
通信異常処理を「停止」→「切断」に変更すると…

After

稼働している機器とだけ通信。エラー画面にならないから監視/操作ができる！

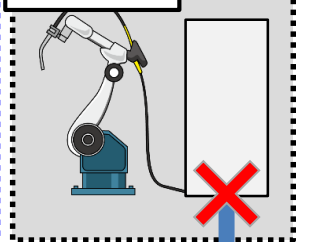


電源ON



モニタ/操作OK

電源OFF



安心して省エネできる！  
コスト削減！

## 設定箇所

### 通信異常処理（ハードウェア設定→PLCxプロパティ）



**復帰条件：**  
自動で通信の復旧確認をします。  
通信が復旧したら、  
何も操作をしなくても、接続機器の  
モニタ、操作ができるようになります。

**KeepAlive：**  
通信断の検出が早いので、  
復旧確認の待ち時間が短くなります。  
※Ethernet接続のみ使用可



### 通信状態を確認するには？



**！アイコン：**  
切断状態の機器のデバイスを設定した  
パーツに表示されます。

**ステータスバー：**  
エラー内容が表示されます。

システムデバイス\$Px:00010~にも通信状態が出力されます。  
ランプパーツなどで状態を表示できます。

設備の使い方に合わせた「通信異常処理」を選択して、  
安心して使用できる設備を目指しましょう！

